

2007 年秋、東京で「ポーランド語能力国家検定」が受けられます！

2004年に始まった、ポーランド政府主催の「ポーランド語能力国家検定」ですが、4年目の今年、いよいよ日本で受けられることになりました。受験申し込みの最終締め切りは10月12日ですが、検定料の送金や、通信にも時間がかかりますので、早めにご応募ください。この検定に合格していることを雇用の条件としたり、検定資格のレベルを給与に反映する企業や官庁も増加しています。

過去ポーランド語を学んだ方、あるいは現在学んでいる方、自分のレベルを客観的に把握するためにも、ぜひふるってご応募ください。

どのような問題がどのような形式で出題されるかについては、下記のポーランド語能力検定サイトに例題が掲載されていますので、参考にしてください。なお、試験官・採点委員は本国から派遣されて来日します。

東京での検定試験

日程——2007年11月19日(月)～20日(火)

会場——東京外国語大学府中キャンパス(予定)

受験申し込み方法

・ポーランド学歴認証国際交流局(BUWiWM)ホームページのポーランド語能力検定サイトにアクセスして(⇒ <http://www.buwiwm.edu.pl/certyfikacja/>)、

(1)オンライン申し込み

(2)PDFの願書をダウンロードして手書きで記入し、郵送、またはFAXする

⇒ 00-375 Warszawa, ul.Smolna 13, fax (+48 22) 826 28 23

(3)DOCの願書をダウンロードして記入し、電子メールで送る。

⇒ certyfikacja@buwiwm.edu.pl

・・・というような応募方法がありますが、オンライン申し込みが手軽です。

◀ ポーランド語能力国家検定について ▶

(1)ポーランド国籍を有さない人、またポーランド国籍を有していてもポーランド国外に定住している人で、満16歳以上であれば、誰でも受験することができます。

(2)検定試験で測定・評価される能力は次の5つのカテゴリーです。

A. 聴解 (40点満点)

B. 文法 (40点満点)

C. 読解 (40点満点)

D. 作文 (40点満点)

E. 発話 (40点満点)

(3)現在実施されている検定試験のレベルは、以下の3種類だけですが、種類は将来増やされる可能

性があります。

B1(基本)レヴェル

B2(中級)レヴェル

C2(上級)レヴェル

(4) 検定試験に合格するには、A, B, C, Dの筆記試験とEの口頭試験すべてのカテゴリで60%以上の得点をするのが必須で、いずれかのカテゴリで一つでも60点に達しない場合は、他のカテゴリで優秀でも合格なりません。総得点の上限は200点です。

(5) 検定試験の採点評価にあたるのは、ポーランド共和国政府によって任命された常設の「外国語としてのポーランド語能力検定国家委員会」が試験ごとに指名し、試験会場に派遣する試験委員です。委員会のメンバー表はBUWiWMのサイトで公表されています。現在10名の委員で構成されています。

(6) 試験の概要

筆記試験(計225分)

A. 聴解——30分

B. 文法——60分

C. 読解——45分

D. 作文——90分(二人の委員によって採点され、その合計が得点となります)

口頭試験(約15~20分)

筆記試験と同じ日、または翌日に行われます。

1人の試験官と受験者の対話を、別の試験官が観察し、二人の採点を合計します。

(7) 再受験

合格しなかった場合、申し込んでも受験しなかった場合などでも、次の機会に受験することができます。

(8) 検定料

2007年の夏季検定試験ではB1が60ユーロ、B2が80ユーロ、C2が100ユーロですが、秋季検定の受験料は未定で、これから決定されます。銀行送金にかかる手数料は、受験者負担です。

(9) 詳細

詳しいことは、<http://www.buwiwm.edu.pl/certyfikacja/> を御覧ください。